



くらしに希望を！ 消費税減税待ったなし！

総選挙勝利 中央区民のつどい

11/3与野本町コミセンに 50 人の方々が集まり、熱気溢れる集会になりました。

はじめに5区責任者のたけこし議員が、9月議会の様子を報告しました。令和4年度のさいたま市決算が出て59億の黒字、基金も895億円と過去最高になったそうです。それに対して税金を納めた市民への還元はあまりにも低く、101億の暮らしを応援する対策費のうち大方は国や県の補助金が占めています。市からの持ち出しは僅か6,800万円のみで、市が134万人の市民のために使った金額は、一人当たり50円でしかありません。さいたま市民の令和4年の所得の平均値は、年額246万円です。非課税になるのは220万円ですから、真に困っている世帯の年収に僅か20万円の差額があるだけです。少ない年収の人が必死に働き税金を支払っても還元されるのは、たったの50円。“やってられないよ！”の声が聞こえてくるようです。

次に挨拶に立ったのは衆議院埼玉5区の予定候補者、山本ゆう子さん。福島県の生まれで、長い間教職についていた方です。原発の事から汚染水流失や、今も変わらぬ学校現場の厳しい状況などに心を痛めていると話されました。暖かい人柄がよく伝わってきます。是非当選させたいと会場からの拍手で励ましました。

(編集部)

日本共産党の経済再生プラン

30年に及ぶ、経済停滞、くらしの困難を打開するために

3つの改革で くらしに希望を



- 1, 政治の責任で、「賃上げ」「待遇改善」をすすめる
- 2, 消費税の減税 社会保障の充実と教育費負担軽減
- 3, 気候危の打開
エネルギーと食料の自給率向上を



中央区後援会より映画鑑賞会のお知らせ

12月9日(土) 午後1:30~

*詳しくは、お近くの後援会役員まで

中央区民まつりに参加しました♪



11/12連事務所にて、中央区後援会はバザーを行いました。不用品や手作りの品に加え、おでんとさつま芋を売りました。肌寒い日で遊馬農園からの紅はるかは大好評♪ゆであがるのを待つ方も出るほど人気でした♪おかげで売り上げは35,000円ほどになりました。普段顔を合わせない方とも交流が出来、楽しい一時でした。ご協力ありがとうございました。

9月議会は、令和4年度の決算を審議する議会となりました。私たちがさいたま市の決算をどう見ているか、ご紹介します。

さいたま市の令和4年度決算は歳入が6649億円、歳出が6558億円となり実質収支が59億9000万円の黒字、各種基金の総額は895億円となり過去最高金額を記録しました。

しかし、令和4年度の予算編成時には「財源不足額が146億円で厳しい」と議会に報告し、不安を煽っていました。さらに、9月のマスコミ報道では新年度予算「322億円の財源不足」と報道され、多くの市民から不安の声が寄せられています。

予算で赤字、決算で黒字のわけは？

予算編成で多額の不足が生じていたにも関わらず、決算では大幅な黒字となり、相当なギャップが生まれています。その理由を質疑しました。私の決算質疑に対して、このギャップが生まれる理由を財政局長は「予算編成時の不足額はあくまで推計値で、本予算を組む際には金額を整理して予算編成を行う」と答弁しました。

しかし、整理する前の数字を公表することで、市民や市執行部に無言の圧力をかけ、財政引き締めのおまじないとして使っています。

毎年大幅な不足額が計上される大きな理由は「上限を設けていない建設費」です。市は毎年、大型開発やハコモノ事業の計画を立て、投資的な経費として予算を確保していますが、一方で、市民サービス等に関する義務的な経費の支出を限界まで縮小しています。これが市の説明する「予算の整理」です。

この事実を裏付けるように財政局長は「建設費における上限は特段設けていない」と答弁しています。まさに、市民が納めた税金がハコモノ優先に使われていることを象徴する答弁です。本来、財政を厳しく引き締めるべき財政局が、この認識では開発に歯止めがかかりません。

必要な支出を削りハコモノ建設に熱中するさいたま市政をみなさんと一緒に変えていきたいと思ひます。



市議会議員
たけこし連

四季折々 (13)

なんで 留守番条例なの？

私がこの話題を知り調べてみると子供だけで留守番は放置している状態で虐待だということで驚きしかありませんでした。確かに他の国では親がいない間ベビーシッター等が子供の面倒をみていると耳にします。その為の制度は日本には充実しておらず、他人に預けるのは慎重になる親がほとんどだと思います。代わりに学童保育という制度があるのではないのでしょうか。

自民党県議団の記者会見をみてみますと留守番＝放置で虐待という短絡的である事に加え自分達は何一つ見解も代えずただ時期の問題で取り下げるといふこと、批判が殺到したからという理由で何一つ振り返らないという姿勢に子供の事を考えていないという事を強く実感しました。そもそも学童保育へ入れない状況で自宅にいるという状況を作り出した学童保育枠の不足こそ行政の責任です。この問題は自民党の責任が大きいのではないのでしょうか。そのことを差し置いて放置しているとは見解の歪曲も甚だしいと思ひます。憤りかありません。

(春野 遊)

今回の原稿は、子育て中のママさんから頂きました。この件では、皆さん埼玉県がとんでもないことをしてかした、と思つたのではないのでしょうか！

是非引き続き原稿を募集します。ご意見をお寄せください。

(編集部)



文芸



四万温泉にて 恵美子

俳句は、新婦人俳句小組のみなさんの作品です。読者の皆さんの作品をお待ちしています。

底紅の一輪茶室とのへり
天高し人恋う頬に風優し
眠られぬ夜のしずけさ虫の声

光子
久美子
わこ